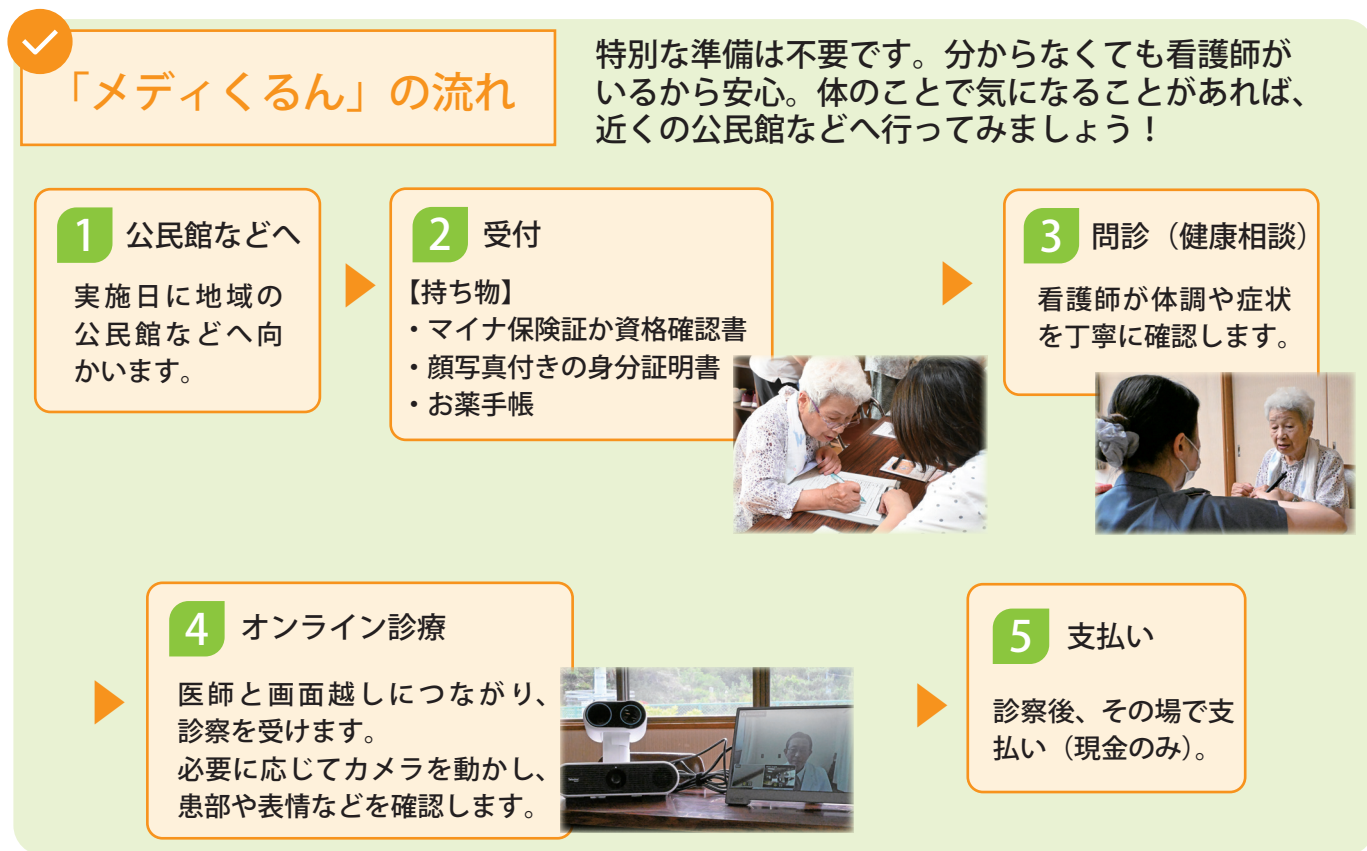




メディくるん

Q & A

Q 申し込みは必要ですか？

A 不要です。開催場所や日時は広報まいつるの「暮らしのカレンダー」で確認してください。

Q どんな人が利用できますか？

A 定期的な通院が必要で病状が安定している人や、発熱のない風邪など軽い症状の人が対象です。

Q 緊急時の受診はできますか？

A 発熱や呼吸困難、レントゲンなどの検査が必要と思われる場合は、医療機関を受診してください。

Q 紹介状は必要ですか？

A 現在、加佐診療所以外で受診している人は、かかりつけ医に相談のうえ、紹介状を持参してください。

Q 体の悩みだけでも相談できますか？

A 日頃の健康相談や健康に役立つ話を聞くなど気軽に利用してください。

Q 薬はもらえますか？

A 薬が必要と診断された場合は処方します。配達や郵送のサービスを利用して、自宅で薬を受け取ることもできます。

利用した人の声

メディくるんが久田美集会所であると聞いて受診しました。最近参加できていなかった「サロンdeストレッチ」が一緒に開催されていることも受診のきっかけとなりました。はじめてカメラでの診察を受けましたが、しっかりと診てもらえることができ、薬も家に届けてもらえるため大変ありがたいです。今後も、大きな病気がなく自分で出かけられるうちは「メディくるん」を利用したいです。



久田美集会所で受診した
水口 澄子さん



地域に出向く医療
～オンライン巡回診療～

「メディくるん」

始めました！

京都府内初！！



地域に出向く医療

こうした背景から「病院で待つ医療」ではなく「地域へ出向く医療」の必要性が高まっています。そこで、今回、府内で初となる「オンライン巡回診療」を始めました。

このオンライン巡回診療は「メディカル（医療）」が近くに「来る」にちなんで「メディくるん（愛称）」と名付けました。舞鶴市内には加佐地域と同様に、移動手段がなく通院が困難な地域が他にもあります。今後は、地域を問わず、誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるよう「メディくるん」の拡大に取り組んでいきます。

加佐地域の現状

加佐地域唯一の医療機関である加佐診療所。地域の皆さんのかかりつけ医として役割を担ってきました。しかし、地域の高齢化が進み医療のニーズが高まる一方で、高齢によりバスなどの利用が難しく受診を控えたり、家族の送迎で他の医療機関を受診したりと、患者数は年々減少しています。

愛称はメディくるん

までの通院が困難な人も必要な医療が受けられる機会を確保するとともに、普段通院されていない人の健康相談も併せて行うことで、病気の早期発見にもつながることを目的としています。

7月から開始した「メディくるん」は、京都府で初めてのオンライン巡回診療です。地域医療の新しい形として、適切に医療を受けられる環境づくりを進めています。

《市民病院》